

作成手順

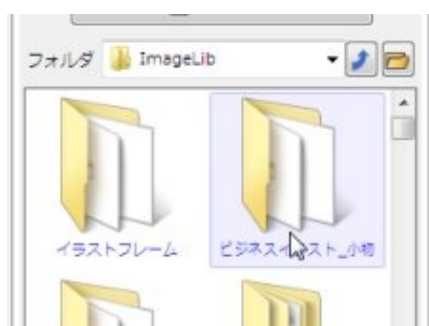


ツールバーの〔画像〕タンをクリックします。
〔画像〕ボタンをクリックすると、画面左のプロパティボックス部の表示が切り替わり、以下のような画面が表示されます。

次に〔画像の挿入〕ボタンをクリックしましょう。



〔挿入〕ボタンをクリックすると用紙上に空の画像オブジェクトが作成されます。

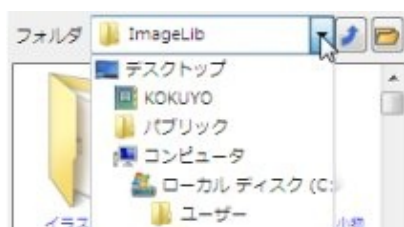


貼り付けたい画像を選択します
用紙上に空の画像オブジェクトが作られると、画面左のプロパティエリアに当ソフトに付属されている画像フォルダが表示されます。
付属の画像を使用する場合には、左図のようにお好みのフォルダを選択します。

お好みのフォルダをクリックするとフォルダ内に収録された画像が一覧されますので、貼り付けたい画像をクリックすることで、用紙上の空の画像オブジェクトに選択した画像が貼り付けれます。



画像オブジェクトの各種設定



フォルダ
画像が収録されているフォルダを選択します。
デフォルト(初期値)では、当ソフトに付属されている「ImageLib」フォルダが指定されていますが、〔 〕ボタンを押すと他のドライブやフォルダを指定することができます。

* 当ソフトで表示(貼り付け)可能な画像形式は、「BMP」「JPG」「TIF」「GIF」「EMF」となります。貼付け不可能な画像についてはアイコン表示になってしまいます。



ボタン

現在選択しているフォルダのひとつ上の階層にワンタッチで表示を切り替えます。



ボタン

よく使用するWindows標準の「マイピクチャ」フォルダと、当ソフトで用意さ

れている「ユーザー登録画像」フォルダにワンタッチでジャンプすることができます。



サイズボタン
画像一覧エリアに表示される画像の大きさを〔+〕〔-〕ボタンで変更できます。

〔フォルダを標準に戻す〕ボタン
他のフォルダやドライブを選択している状態で、このボタンを押すとデフォルト(初期値)である付属画像フォルダ「ImageLib」にワンタッチで戻すことができます。



〔背景透過〕チェックボックス
この項目にチェックをすると、画像の最角のピクセル色を背景色とみなし、その色を透過(透明とみなす)します。ただし、BMP・JPG・TIF・GIF画像でのみ有効な機能です。

〔縦横比固定解除〕チェックボックス
この項目にチェックをすると、貼り付けた画像の縦横の比率を固定(初期値)するモードを解除し、縦横自由に拡張縮小することができるようになります。

〔画像の加工〕ボタン
貼り付けた画像のトリミングや色調変更など簡単な加工を行えます。詳細説明は[こちら](#)。

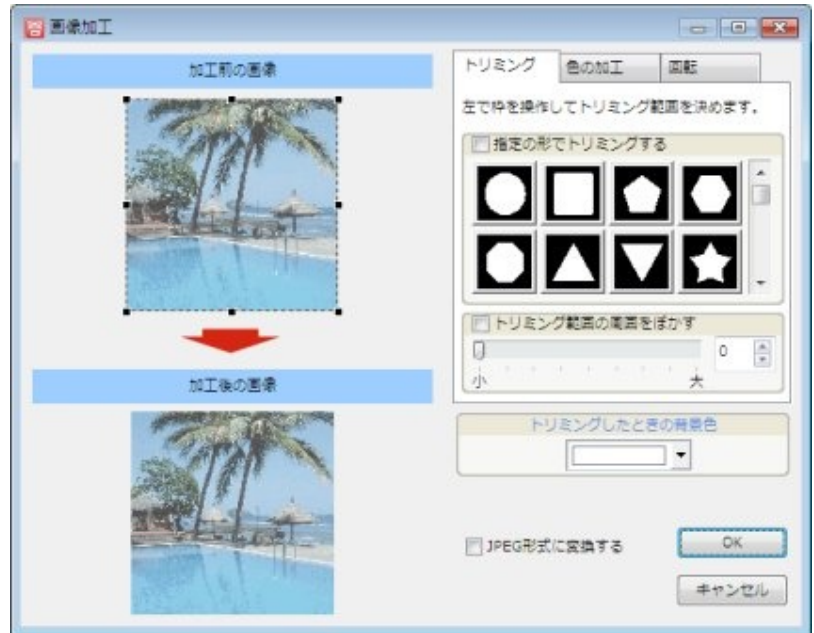
〔画像の登録〕ボタン
貼り付けた画像を「ユーザー登録画像」フォルダへワンタッチ保存します。以後の作業でも頻繁に使用する画像を保存しておくとう便利です。

〔画像をダウンロード〕ボタン
このボタンをクリックすると、インターネットブラウザが起動し、弊社「合わせ名人」専用サービスサイトのフリー画像ダウンロードページに接続されます。
お好みの画像をダウンロードしてご利用いただけます。

画像加工機能

画像の加工

加工したい画像を選択して、左図のボタンをクリックします。



上図の画面が表示されますので、お好みの加工機能をご利用ください。

トリミング

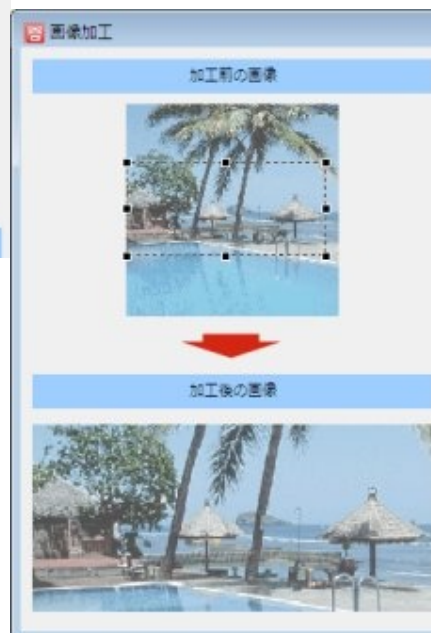
選択画像の必要部分だけを切り抜くことができます。人物写真など特定対象以外の不必要な背景を取り除くことができます。

また、特定の図形を選択することで、楕円形や星型に画像を切り抜くことも可能です。

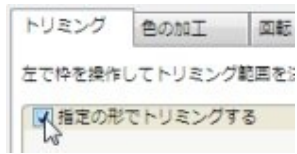


画面左に「加工前」と「加工後」の画像が上下に表示されています。「加工前」の画像の周囲には「」のハンドルが表示されていますので、マウスドラッグでハンドルを操作し、必要な部分だけを囲むように指定します。

指定すると下段の「加工後」の画像に切り抜いたイメージが表示されますので、このイメージを見ながらトリミング作業を行います。



切り抜き作業が完了しました。この状態でよければ、画面右下の〔OK〕ボタンをクリックします。



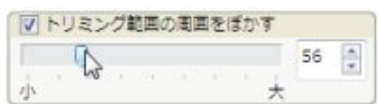
もうひとつの切り抜き方法として、図形を選択してトリミングする機能があります。

左図の「指定の形でトリミングする」にチェックをすると、下段に登録された図形が表示されます。



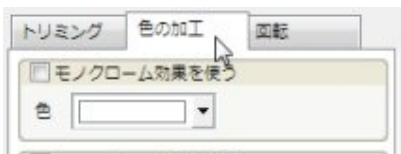
上図のようにお好みの図形を選択すると画像がその形状に切り抜かれます。

画像の周囲に「ぼかし」加工が付加できます。「トリミング範囲の周囲をぼかす」にチェックを入れ、下部のレバーを操作することでぼかし加工が加えられます。



色の加工

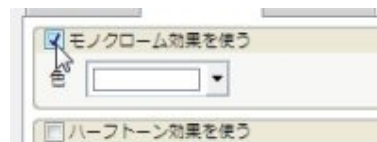
選択画像の色調を変更します。カラー画像をモノクロ画像に変更したり、指定色とのダブルトーン画像にすることもできますので、セピア調の画像やデザインに合わせた画像作りができます。また、背景等に使用できるように画像全体の色調(色の濃さ)を淡くできる「ハーフトーン効果」の設定も可能です。



「色の加工」タブをクリックすると以下が表示されます。

モノクローム効果

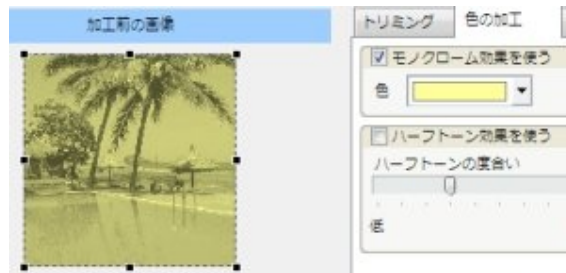
「モノクローム効果を使う」にチェックを入れます。



「色」ボックスから色を選択します。デフォルトでは「白」が選択されており、画像はモノクロ画像に変換されています。



セピア調にしたいので、標準パレットから上図の「薄い黄色」を選択します。



ハーフトーン効果

「ハーフトーン効果を使う」にチェックを入れます。



下のレバーを操作するか、右の数値ボックスの値を変更します。



画像の色合いが淡くなりました。

回転

選択画像を1度単位で回転することができます。



「回転」タブをクリックすると以下が表示されます。



上図のようにレバーを操作するか、数値ボックスに数値を入力して回転角度を指定します。

右回転方向は「+」、左回転方向には「-」の値を指定します。



「加工後の画像」に回転が反映されました。

上記イメージでもわかるように加工後の画像の4隅が白くなっています。これは回転の設定を行ってもオブジェクト枠自体は「長方形」のままを保持するため、画像の隅に余白部分ができてしまうのです。画像を貼り付ける用紙上の背景が「白」であれば、このまま貼り付けても問題はないのですが、背景がある場合、回転機能との併用はできません。ただし、背景が単色の場合、以下のように背景色を変更することができます。



注意

画像加工機能は一度加工を行い、用紙上に貼り付けてしまうと、元のオリジナル画像には戻すことはできません。元に戻すためには再度画像オブジェクトを挿入する作業から行わなくてはなりません。フォルダに収納されている画像に加工するのであれば、たとえ失敗しても再度そのフォルダから挿入しなおせますが、外部ソフト等からコピーしてきた画像の場合、最初から作業をしなおさなければなりません。ご使用の際にはご注意ください。